

令和5年度（令和4年度事業）

教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価に関する報告書

令和5年7月

常陸太田市教育委員会

目 次

I. 教育委員会施策の点検・評価の概要	1
II. 施策別点検・評価	
教育委員会施策の点検・評価書（令和4年度事業）	5
(施策名)	
1 地域資源に磨きをかけた観光の振興	5
2 子育てへの支援	6
3 豊かな心の育成	8
4 魅力ある学校づくり	10
5 多様な学習機会の支援	12
6 スポーツ・レクリエーション活動への支援	13
7 犯罪のないまちづくり	14
8 結婚・定住の推進	15
9 市民の地域活動への支援	16
参考 教育委員会の活動状況	17

教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価に関する報告書

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する
報告書について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、常陸太田市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する書類を別紙のとおり提出する。

令和5年9月1日

令和5年度教育委員会施策の点検・評価(令和4年度事業)の概要

1. 趣旨

- 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づき、市教育委員会が、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行う。

2. 点検・評価の目的

- 教育委員会における主要な施策や事務事業について点検・評価を行い、課題や取組みの方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図る。
- 点検・評価の結果について報告書を作成し議会に提出するとともに、公表することにより、市民への説明責任を果たし市民に信頼される教育行政を推進する。

3. 点検・評価の対象

- 令和4年度施策を点検・評価する。
 - ・常陸太田市第6次総合計画後期基本計画における教育委員会所管の9施策

4. 点検・評価の方法

- 施策を構成する主な事務事業の評価を基に、施策の目標達成に向けた取組状況と成果の点検・評価を実施する。
- 学識経験者による教育行政評価委員が、施策評価や施策の改善点等について審議する。

（1）事務事業の評価

- 施策の目標達成のために行った主な事務事業について、その成果や課題を精査検証し評価する。
- 評価については、「A 期待した成果があった」、「B 一定の成果があった」及び「C 見直しや改善が必要」の3段階で評価する。

（2）施策の総合評価

- 事務事業の評価結果を踏まえ、施策全体の総合的な成果を評価する。
- 評価については、「A 期待した成果があった」、「B 一定の成果があった」及び「C 見直しや改善が必要」の3段階で評価する。
- 今後の方向性を明確にするため、「課題と今後の方向」を記載する。

(3) 学識経験者の知見の活用

○点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する教育行政評価委員の審議を行う。

○教育行政評価委員（敬称略）※

分 野	氏 名	所属等
学校教育	岡部 昌見	元学校長
社会教育	早川 忠雄	社会教育委員会議長
保護者関係	佐々木 紗織	市女性ネットワーク委員会委員長（峰山小）

（参考：令和4年度）

分 野	氏 名	所属等
学校教育	岡部 昌見	元学校長
社会教育	早川 忠雄	社会教育委員会議長
保護者関係	永山 由紀恵	市女性ネットワーク委員会委員長（金砂郷小）

5. 点検・評価結果の公表等

(1) 議会への提出

○点検・評価の結果について報告書を作成し、市議会に提出する。

(2) 市民への公表

○報告書を市ホームページにより公表する。

6. 点検・評価結果の概要（令和5年度（令和4年度事業））

○主な事務事業の評価結果を踏まえ、施策全体の総合的な成果を、「A 期待した成果があった」、「B 一定の成果があった」及び「C 見直しや改善が必要」の三段階で評価した。

総合計画における教育委員会所管の9施策（令和5年度（令和4年度事業））

	基本施策	施策の 総合評価	事 務 事 業	事務事業 評価	
				所管課	委員会
1	地域資源に磨きをかけた観光の振興 （3事業）	B	1 指定文化財整備（文）	B	B
			2 市内遺跡調査（文）	B	B
			3 文化財公開（文）	A	A
2	子育てへの支援 （6事業）	A	1 幼稚園保育料の無料化（教）	A	A
			2 給食費無償化及び一部補助（教）	A	A
			3 図書館子育て支援ブックスタート（図）	A	A
			4 図書館子育て支援あかちゃんタイム、 ママ・プレママサロン（図）	B	A
			5 市立幼稚園・小中学校給食費の軽減（給）	A	A
			6 放課後子ども教室（生）	B	B
3	豊かな心の育成 （5事業）	B	1 学校図書整備（小学校・中学校）（教）	A	A
			2 みんなにすすめたい一冊の本推進事業 （指）	B	B
			3 あたたかな人づくり推進事業（指）	A	A
			4 小中学校と図書館の連携（図）	B	B
			5 人権啓発推進（生）	B	B
4	魅力ある学校づくり （7事業）	A	1 3歳児クラスT T配置（教）	A	A
			2 市立幼稚園特別支援指導員配置（教）	A	A
			3 小学校T T特別配置（指）	A	A
			4 小学区特別支援教育指導員配置（指）	A	A
			5 幼稚園再編事業（教）	A	A
			6 活力ある学校づくり推進事業 （小学校・中学校）（指）	A	A
5	多様な学習機会の支援 （3事業）	B	1 公民館地域活性化推進（生）	B	B
			2 地域資源活用講座事業（生）	B	B
			3 公民館整備（生）	B	B

6	スポーツ・レクリエーション活動への支援 (3事業)	B	1 ジュニア競技能力向上事業 (ス)	A	A
			2 スポーツ施設整備(新総合体育館整備事業) (ス)	B	B
			3 スポーツ施設整備 (運動公園整備事業) (ス)	B	B
7	犯罪のないまちづくり (1事業)	B	1 子どもの安全対策強化 (教)	B	B
8	結婚・定住の推進 (1事業)	B	1 移住・定住者への奨学資金返還助成制度 (教)	B	B
9	市民の地域活動への支援 (2事業)	B	1 エコミュージアム活動の推進(わがまち地元学事業・地域資源整備事業) (文)	B	B
			2 エコミュージアム活動の推進(地域交流事業) (文)	—	—

計30事業

7. 施策別点検・評価

○別紙「教育委員会施策の点検・評価書（令和4年度事業）」による。

8. スケジュール

- 5月 1日 各課等へ「点検・評価書」原案作成を依頼
- ↓
- 6月 2日 各課等により「点検・評価書」原案の取りまとめ
- ↓
- 評価委員会提出用「点検・評価書」の作成
- ↓
- 7月14日 教育行政評価委員会の開催（外部評価）
- ↓
- 「点検・評価に関する報告書」の作成
- ↓
- 8月23日 教育委員会定例会へ報告
- ↓
- 9月 1日 市議会定例会に提出

教育委員会施策の点検・評価書(令和4年度事業)

担当課 文化課

総合計画 における 位置づけ	基本目標	I 安心して働くことのできる仕事場のづくり
	政策	1 産業振興と新たな雇用創出による仕事場のづくり
	基本施策	4 地域資源に磨きをかけた観光の振興
		(4)歴史資源の保護・活用
	施策の概要	・文化財の保護・活用 ・文化財に触れる機会の拡充

施策に対する 事務事業 の 概要・成果・ 評価	事務事業名	事務事業の概要	主な成果	担当課 評価	委員会 評価
	①指定文化財整備	・修繕や整備が必要な文化財の所有者へ補助金を交付し、保存・活用を図る。 ・文化財の巡視を行い、所有者に対し助言を行う。	(文化財所有者に対し補助金の交付) ・国指定文化財 佐竹寺(継続)防災設備保守点検 ・市指定文化財 小森明神古墳の支障木伐採 (文化財の巡視を行い、所有者に対し助言する) ・指定文化財について文化財保護協力委員、樹木医と協力し巡視(所有者に対し軽微な助言6件:注意喚起の看板設置・日常管理のアドバイスなど)を行った。	B	B
	②市内遺跡調査	(梵天山古墳群周辺遺跡の保存活用) ・県内第2位の島町の梵天山古墳とその周辺には100m級の大型古墳が3基のほか、古墳時代前期の貴重な古墳が存在し、文化庁からも国指定の価値が十分にあるという指摘を受けていることから、今後の保存活用を図るためにも国指定申請を行うことを目的とした詳細調査を行う。	(梵天山古墳群周辺遺跡の保存活用) ・梵天山古墳の国指定に向けての確認調査成果と課題について検討した。 ・重要遺跡調査委員会開催(2回) ・文化庁調査官の助言・指導や重要遺跡調査委員会の意見のもと、国指定申請に向けて追加作業及び調査を進めることとなった。(追加期間R5～R9) ・国指定申請予定:令和10年度	B	B
	③指定文化財公開	(指定文化財集中曝涼) ・普段は公開されていない文化財を積極的に公開し、文化財保護意識の高揚と文化財を地域の宝物として守るという地域コミュニティの活性化を進めるとともに、交流人口の拡大につなげていく。	・コロナ禍により3年ぶりに実施。19箇所を実施し、来訪者は延べ7,545人。	A	A

施策の成果 を示す 主な指標	指標名(単位)	R2	R3	R4	担当課 評価	委員会 評価
	指定文化財等保存整備補助金交付件数(件)	2	1	2	B	B
	西山御殿(西山荘)来訪者数(人)	9,177	9,269	10,180	B	B
	集中曝涼来訪者数(人) ※[]内は、動画視聴者数 ()内は、1日開催	[973]	(5,104)	7,545	A	A

施策の 総合評価	A 期待した成果があった	B 一定の成果があった	C 見直しや改善が必要
事務局評価		○	
委員会評価		○	

課題と 今後の方向	【指定文化財整備・市内遺跡調査・文化財保護】 引き続き指定文化財を積極的に公開し、文化財に触れる機会の拡充に努め、文化財保護意識の高揚及び文化財の保護・活用に努める。
--------------	--

教育行政 評価委員 による意見	・施策を実施すること(保守・点検・伐採・助言)が結果に繋がっていると考えられるため、今後も継続して実施していただきたい。 ・集中曝涼について、コロナも落ち着き、今後來訪者が増え交流人口に繋がることを期待しています。
-----------------------	--

教育委員会施策の点検・評価書(令和4年度事業)

担当課	教育総務課
	図書館
	学校給食センター
	生涯学習課

総合計画 における 位置づけ	基本目標	Ⅱ 夢を育み健やかに生きるひとづくり
	政策	1 安心して子育てのできる環境づくり
	基本施策	5 子育てへの支援
		(1)子育て家庭への支援
		(3)地域ぐるみの子育て支援
	施策の概要	・子育ての学習機会や情報提供の充実、交流の場の確保。 ・子育て家庭への経済的支援を充実。 ・子どもの居場所の確保・充実。

施策に対する 事務事業 の概要・ 成果・評価	事務事業名	事務事業の概要	主な成果	担当課 評価	委員会 評価
	幼稚園保育料の無償化	市内在住の幼稚園児(1号認定者)に対し、保育料の無償化を実施。	市内在住の幼稚園児(1号認定者)に対し、保育料の無償化を実施。 各家庭の経済的負担の軽減が図られた。	A	A
	給食費無償化及び一部補助	市内在住の幼稚園児(1号認定者)が市外の幼稚園に通園する場合に対し、給食費の無償化を実施。	市内在住の幼稚園児(1号認定者)が市外の幼稚園に通園する場合に対し、給食費の無償化を実施。 各家庭の経済的負担の軽減が図られた。	A	A
	図書館子育て支援(ブックスタート)	健康づくり推進課の乳児相談会場に出向いて実施する。乳児健診対象者にブックスタートパック(トートバッグ、絵本2冊)を贈呈し、絵本を介したあかちゃんとのふれあい方法についてアドバイスをを行う。(対象者:令和3年11月から令和4年10月生まれの乳児)	令和4年度対象者(189名)、受領者183名(内訳:実施日163名 後日24名 転入1名)、未受領者(1名)。乳児健診相談日に来なかった方については個別に通知による連絡を行った。ブックスタートを行うことにより、まだ言葉を話さないあかちゃんが絵本に反応することについて保護者に気づかせることができ、また、家庭において親子が本を介したふれあいを実践・継続することによって、あかちゃんが言葉に対する興味をもち、本に親しむ習慣の醸成を図っている。	A	A
	図書館子育て支援(あかちゃんタイム、ママ・プレママサロン)	保護者があかちゃんの泣き声等に気兼ねなく図書館を利用できる時間帯(あかちゃんタイム)を設けている。(毎月第1・3木曜日10時30分～正午) あかちゃんタイムの時間帯に併せ、ママ・プレママサロンとして図書館ボランティアによる読み聞かせ、妊娠・出産・育児等の本の紹介、ママさん同士の情報交換を行っている。ママ・プレママサロンの一環として、子育て親子を対象にワークショップを行っている。	あかちゃんタイム実施により、親子で図書館を訪れやすい環境をつくることのできている。 また、感染症対策を行った上で23回実施し、126名の参加があった。 図書館での楽しい体験が保護者・子どもの読書への関心や図書館利用に繋がっている。 過去の実績 R1 23回 405名 R2 1回 18名 R3 19回 156名	B	A
	市立幼稚園・小中学校給食費の軽減	小学校の児童・中学校の生徒に対する給食費を1/2に減額及び市立幼稚園・こども園の市内在住園児は無償。	給食費の減額及び無償により、子育て家庭への経済的支援を行い、子育て世帯から感謝の声をいただいている。引き続き子育て世帯への経済的支援が図られるよう努めていく。	A	A

	放課後子ども教室	・小学校低学年生の放課後の活動場所として、ボランティアが子どもたちの安全を見守りながら一緒に活動し、子供たちが安心して自由に「学び」「体験」「交流」「遊び」ができる環境をつくる。	・市内全小学校区で実施 4小学校区・・・週1回、3小学校区・・・週2回、1小学校区・・・週3回 ※実施日数418日、参加児童数196人 サポーター登録人数73人 ・マスクの着用、手洗い、活動後の消毒等、感染対策を徹底し通常通り実施することが出来た。 ・サポーターとの交流により児童が放課後の一時を生き生きと過ごす事が出来ている。 ・いくつかの学校が統合されたことから、学校及びサポーターとの調整を行った。	B	B
--	----------	---	--	---	---

施策の成果を示す 主な指標	指標名(単位)	R2	R3	R4	担当課 評価	委員会 評価
	幼稚園(1号)保育料無償化 認定者数(人)	168	148	108	A	A
	幼稚園(1号)給食費無償化 認定者数(人)	168	148	108	A	A
	ブックスタートバック贈呈率(%)	85	95	98.7	A	A
	パパママ・プレママサロン参加者数(人)	18	156	126	B	A
	学校給食費減額対象者数(人)	3,149	3,037	3,051	A	A
	放課後児童クラブとの連携数(箇所)	12	12	8	B	B
	サポーターの数(人)	108	102	73	B	B

施策の 総合評価	A 期待した成果があった	B 一定の成果があった	C 見直しや改善が必要
事務局評価		○	
委員会評価	○		

課題と 今後の方向	【幼稚園(1号)保育料・給食費無償化】 令和元年度から、国の施策に基づき幼稚園児(3歳児以降)の保育料を無償化としており、子育て世代の経済的負担の軽減を図る施策として有効に機能していると考えられる。今後も継続していく必要がある。
	【図書館子育て支援】 ブックスタートは、絵本を介しあかちゃんとのふれあいを持つ機会となることや、幼少期から本に親しむ習慣を身につけるため、今後も継続して実施する。
	【図書館子育て支援】 ①あかちゃんタイムは、継続して実施する。 ②パパママ・プレママサロン及びワークショップは、感染症対策を行ったうえで実施する。
	【市立幼稚園・小中学校給食費の軽減】 ①令和2年4月から市内在住の市立幼稚園とこども園の園児の給食費を無償とした。引続き子育て世帯への経済的支援が図られるよう努めるとともに、保護者に対し負担軽減の趣旨を伝えていく。 ②令和4年6月から物価高騰の影響により給食の質・量及び栄養価等を満たすため給食費を値上げし園児等の増額分を市で負担することにより保護者への負担軽減を更に実施する。
	【放課後子ども教室】 ①放課後児童クラブと連携し、本事業の充実を図る。 ②サポーターの高齢化、また、登録人数が年々減少傾向にあることが課題である。また、学校ごとに登録人数にバラつきがある。現サポーターに対し引き続き登録をお願いすることはもとより、新たなサポーターの発掘のため声掛けを行って貰っているが、事業が平日実施の為、手が空いている方が少なく確保が難しいのが現状である。今後も市ホームページ等を活用し、広くお知らせをし、サポーターの確保に努める。

教育行政 評価委員 による意見	・各事務事業が成果に繋がっている。保護者にとっても、経済的負担が軽減され、大変助かる施策である。 ・図書館の事業について、幼少期から本に親しむことができ、親子のふれあいとなるため、今後も継続していただきたい。 ・統合校における放課後子ども教室については、各地区からの子どもたちの交流できる場となっており、大変良い。 ・長期休業中(夏休み期間など)に収入が少ないひとり親世帯などに対し、子ども食堂など食事提供があると助かる。
-----------------------	--

教育委員会施策の点検・評価書(令和4年度事業)

担当課	教育総務課
	指導室
	図書館
	生涯学習課

総合計画 における 位置づけ	基本目標	Ⅱ 夢を育み健やかに生きるひとづくり
	政策	2 郷土を愛し未来を拓くひとづくり
	基本施策	6 豊かな心の育成
		(2)感性や創造力向上推進
		(3)道徳・人権・福祉教育の推進。
施策の概要	・学校図書の充実及び学校と図書館のネットワークによる、児童生徒の読書活動の推進。 ・豊かな体験活動をととした、人権教育や福祉教育の推進。	

施策に対する 事務事業 の概要・ 成果・評価	事務事業名	事務事業の概要	主な成果	担当課 評価	委員会 評価
	学校図書整備(小学校・中学校)	文部科学省が設定する学校図書館の図書標準冊数(学級数により異なる)を達成するため、計画的に図書整備を行う。	図書標準冊数は、平成24年度より基準を満たしている。 図書購入費の継続的な確保により、経年劣化した図書の廃棄や新規図書の購入など、定期的な入替えが実現できている。	A	A
	みんなにすすめたい一冊の本推進事業	小学生は年間50冊、中学生は年間30冊以上の本を読んだ児童生徒に賞状の授与を行い、一人一人の読書活動の質的・量的な充実を図る。	数値目標を掲げ、学校図書館の新刊図書の展示・掲示の工夫やブックトークの開催等による啓発活動が展開された。また、学校図書館司書と教職員の連携が図られた。 ○みんなにすすめたい一冊の本事業 ・小学校(50冊以上)…90.3% ・中学校(30冊以上)…31.2%	B	B
	あたたかな人づくり推進事業	規範意識の醸成と安心して学べる学校、学級づくりの推進	QUアンケートの活用に係る研修会の実施や年2回実施したQUアンケートの結果分析により、児童生徒一人一人に対する理解が深まり、学級経営の点検及び充実に役立てることができた。	A	A
		学校全体で取り組む道徳教育、人権教育の充実	市教育大綱の基本テーマである「夢育」を教育の根幹に据え、各学校で道徳教育や人権教育を推進することができた。特に、道徳の教科化により道徳性の育成の重点化が図られた。	A	A
		親子ともみがき活動の展開による家庭教育の充実	親子ともみがき活動を家庭・地域との連携による教育効果の向上の機会と捉え、お知らせを配付し、親子ともみがき活動カードを活用して家庭内のルールづくりやお弁当づくり等家庭の協力を得ながら推進が図られた。	B	B
	小・中学校と図書館の連携	小・中学校読書用図書や授業教材図書の団体貸し出し・校外学習・職場体験・ブックトーク・出前講座の実施	各学校の要望に応え、読書用図書を教室に配置するとともに、教材用図書を提供し、教育の充実に努めた。 ・団体貸出 3,611冊(小・中学校の合計) ・校外学習の図書館受入 5校 ・ブックトーク 10回(1校)	B	B
	人権啓発推進	・人権について関心を高めるために、毎年人権週間に合わせて「ハートフルフェスタひたちおおた」を開催している。	・令和4年度は令和2年度及び令和3年度同様に新型コロナウイルス感染症対策として例年実施している講演会を中止とした。それに代わるものとして、人権を担当する生涯学習課と社会福祉課の連携のもと、生涯学習センターホールに大型のテレビを設置し人権に関するDVDを放映、また、来所者に啓発グッズの配布を行い多くの市民に対し啓発を行う事が出来た。 また、県が主催する研修会への参加等により、人権教育を学ぶことができた。	B	B

施策の成果 を示す 主な指標	指標名(単位)	R2	R3	R4	担当課 評価	委員会 評価
	学校図書館図書標準充足率(小・中学校平均)	145%	149%	149%	A	A
	小学生(4・5・6年)年間で50冊本を読んだ児童率	90%	96%	90%	A	A
	中学生(1・2・3年)年間で30冊本を読んだ生徒率	38%	32%	31%	B	B
	「学校が楽しい」と答える児童生徒の割合	94%	93%	92%	A	A
	全国学力学習状況調査アンケート「今住んでいる地域の行事に参加していますか」児童生徒割合	コロナ対応で 未実施	52%	50%	B	B
	小・中学校への団体貸し出し冊数	4,567冊	3,718冊	3,611冊	B	B
人権啓発事業(講演会等)への参加人数(人)		236人	133人	188人	B	B
施策の 総合評価	A 期待した成果があった		B 一定の成果があった		C 見直しや改善が必要	
事務局評価	○					
委員会評価	○					
課題と 今後の方向	【学校図書整備】 子どもたちの感性や創造力向上を推進する読書活動の拠点となる学校図書の充実を図るため、学校規模及び整理状況に応じた図書整備を今後も継続的に行う必要がある。					
	【みんなにすすめたい一冊の本推進事業】 図書室の有効活用を含め、読書習慣の確立と家庭での読書を啓発していく必要がある。					
	【あたたかな人づくり推進事業】 ①年々進行する少子化や情報化の傾向を捉えつつ、人間関係の希薄さやコミュニケーション不足等の対人スキル面での教育課題に対応していく必要がある。 ②特色ある学校づくりとして取り組む「ふるさと教育」の充実を図るとともに、心を育む体験的で協働的な学びを積極的に取り入れていく必要がある。					
	【小・中学校と図書館の連携】 図書館で所蔵する図書資料を、読書用図書や教材用図書として活用されるよう、引き続き学校図書司書や教科担当との連携を図る。					
	【人権啓発推進】 ①人権週間(12/4～12/10)にあわせ、「ハートフルフェスタひたちおおた」を継続して実施していく。 ②3年間中止としていた講演会を令和5年度は例年通り各種団体と共催により実施する。					
教育行政 評価委員 による意見	・図書充足率は例年継続しているので、今後も継続していただきたい。 ・中学校(30冊以上)における読書率は、学校間格差があるとのことなので、もう少し上昇するよう呼びかけを行ってほしい。 ・QUアンケート、「夢育」教育、親子ともみがき活動については、道徳性の育成・家庭内ルールづくりの重点化が図られ、大変素晴らしい施策である。 ・地域学習・郷土学習については、体験的で協働的な学びを進めてほしい。 ・児童・生徒のために多数の施策があることに対して驚きと共に大変ありがたいので、継続していただきたい。					

教育委員会施策の点検・評価書(令和4年度事業)

担当課	教育総務課
	指導室

総合計画 における 位置づけ	基本目標	Ⅱ 夢を育み健やかに生きるひとづくり
	政策	2 郷土を愛し未来を拓くひとづくり
	基本施策	7 魅力ある学校づくり
		(1) 確かな学力の向上
		(2) 特別支援教育の充実
		(4) 教育環境の整備・充実
		(5) 特色ある学校づくりの推進
	施策の概要	・支援を必要とする幼児、児童・生徒一人一人に応じた適切な指導。 ・多様なニーズと地域性に配慮した幼稚園、小・中学校の規模・配置の適正化。 ・各学校において、全国学力・学習状況調査、学力診断のためのテストや体力テスト等の分析をもとにした、活力ある学校づくりを推進。 ・地産地消による安全な農産物の種類や量の安全確保により、食育を推進。

施策に対する 事務事業 の概要・ 成果・評価	事務事業名	事務事業の概要	主な成果	担当課 評価	委員会 評価
	3歳児クラスTT配置	3歳児11名につきTT講師を1名配置している。担任教諭の補助として園児を指導している。	園児と教諭、保護者との関係構築が図られ、また、園児は集団生活での適応性が確保され、教育上の効果が期待できた。	A	A
	市立幼稚園特別支援指導員配置	特別支援教育を要する児童について、園長から配置要望を受け、関係機関との協議のうえ配置している。	園児と教諭、保護者との関係構築が図られ、また、園児は集団生活での適応性が確保され、教育上の効果が期待できた。	A	A
	小学校TT特別配置	児童生徒の学力の実態を踏まえ、一斉指導の中での個別指導や少人数指導を充実させて、学力の向上を図る。	児童生徒一人一人の実態に応じたきめ細かな学習支援が可能となり、学習意欲の向上や基礎基本の定着に顕著な効果が見られた。	A	A
	小学校特別支援教育指導員配置	発達障害を含め、特別な配慮を要する児童生徒に対する教育的支援を充実させ、学校生活の安定化を図る。	対象児童生徒に対する適切な個別支援が進められ、児童生徒の落ち着いた学校生活や学習につながり、日々の安全の確保や学習機会の保障につながった。	A	A
	幼稚園再編事業	「世矢幼稚園」及び「久米幼稚園」の令和5年3月閉園に向け、保護者及び地域住民への説明を行い、現状及び今後の幼稚園運営の理解を経て令和5年3月に閉園した。	計画改訂版策定後、対象幼稚園の保護者や地域住民に対し説明を行い、理解を図った。 【令和3～4年度】 ・世矢幼稚園及び久米幼稚園 保護者説明会 1回×2園 - 地域住民説明会 28回＝(4+24)町会長こども園見学会 1回×2園	A	A
	活力ある学校づくり推進事業	児童生徒の学力の実態を分析し、学力向上を目的として教職員一人一人の授業力向上を目指す。また、研究組織としての協働体制を確立し、校内の課題研究の推進力と実践力を育む。	〈小学校〉教育目標の具現化とし、各校において研究テーマを設定した授業改善が推進された。特に、小学校においては、学習指導要領に基づく単元型の授業づくりやタブレットの活用が積極的に実践された。 〈中学校〉教育目標の具現化とし、各校において研究テーマを設定した授業改善が推進された。特に、研究発表校においては、言語活動の充実や効果的なICTの活用が図られた。	A	A

施策の成果 を示す 主な指標	指標名(単位)		R2	R3	R4	担当課 評価	委員会 評価
	3歳児TT講師配置人数		3	1	1	A	A
	市立幼稚園特別支援指導員配置人数		11	11	9	A	A
	小学校TT配置学校数		10	10	10	A	A
	小学校特別支援教育指導員の配置人数		30	34	34	A	A
	幼稚園再編に係る説明会			28	2	A	A
	活力ある学校づくりの学校関係者評価(4段階)		3.9	3.9	3.9	A	A
	「授業がわかる」と答える児童生徒の割合		96%	95%	92%	A	A
	「学校が楽しい」と答える児童生徒の割合		94%	93%	92%	A	A
施策の 総合評価	A 期待した成果があった		B 一定の成果があった		C 見直しや改善が必要		
事務局評価	○						
委員会評価	○						
課題と 今後の方向	【3歳児クラスTT配置・市立幼稚園特別支援指導員配置】 初めて幼稚園に入園する園児にとって、個々の面倒を見てもらえるTT講師が配置されることによって、安定した園生活ができている。また、園児の生活の様子(生活習慣・行動・遊び・運動・対人コミュニケーション等)を把握し、必要に応じ特別支援指導員を配置していくとともに、園児の発達段階に応じた対応もさまざまであることから、特別支援指導員等の質の向上を図るための研修の機会を積極的に確保していく必要がある。 【小学校TT特別配置】 インクルーシブ教育の推進において、個に応じた指導の必要性が高まっている。今後も全小学校へ1名の配置を要望し、児童の学びの充実を図る。 【小学校特別支援教育指導員配置】 発達障害及び特別な配慮を要する児童生徒の割合が大きくなってきている。今後も人材の確保と安定した支援を保障していく必要がある。 【幼稚園再編事業】 3・4歳児は全員希望の園へ転園できると共に閉園式を無事に終えた。園舎は令和5年度に解体し、敷地の有効活用を図っていく。 【活力ある学校づくり推進事業】 今日的な課題(9年間の学びを意図した小・中学校の効果的な連携やICT機器の効果的な活用等)を取り入れ、実態に応じた授業改善を図るとともに、各学校にとって参考となる先駆的な研究実践を市内全校に広めていく必要がある。						
教育行政 評価委員 による意見	・市独自で人員配置していただけるのは、園児・児童の学びの充実を図るために大変素晴らしい取り組みだと感じているので、ぜひ継続していただきたい。また、質の向上を図るために研修機会の確保をお願いしたい。 ・幼稚園閉園後の活用等、早めの取組は素晴らしい。						

教育委員会施策の点検・評価書(令和4年度事業)

担当課	生涯学習課
	生涯学習センター

総合計画 における 位置づけ	基本目標	Ⅱ 夢を育み健やかに生きるひとづくり
	政策	3 夢と生きがいをもって活躍するひとづくり
	基本施策	8 多様な学習機会の支援
		(1)生涯学習活動機会の充実
	施策の概要	・時代の要請に的確に対応した学習プログラムの提供 ・生涯学習センター等における生涯学習活動の充実

施策に対する 事務事業 の 概要・成果・ 評価	事務事業名	事務事業の概要	主な成果	担当課 評価	委員会 評価
	公民館地域活性化推進	・地区公民館活動の活性化を図るとともに、公民館職員の研修や講演会を実施。 ・一般教養、家庭教育・健康、女性、青少年、高齢者、スポレク・コミュニティ、趣味の7つの分野に分かれ、バランスのとれた教室・講座等を開催する。	・地域コミュニティの振興やネットワークの強化を図り、「人づくり」「まちづくり」に資するため、市内11の公民館において、99の教室、講座を運営し、開催延回数916回、参加者13,251人となった。コロナ対策による利用制限が緩和されたことに伴い参加人数がコロナ禍以前に戻りつつあり、一定の成果は得ることが出来た。	B	B
	地域資源活用講座事業	・地域を知る学習機会の充実をはかるため、地域資源(物・人)を活用した歴史講座や自然講座等を開催する。	・4地区の学習センターで、14の講座を開催した。令和4年度も新型コロナウイルス対策を行いながら開催となったが、受講者数は1,114人で、昨年(1,002人)より112人増加した。地域資源を活用した健康に対する意識向上及び地域を知る学習機会の提供となった。	B	B
	公民館整備	・公民館の利便性の向上を図るため、優先順位を決定して計画的な施設整備を行う。	・施設・設備を整備することにより、地域における社会教育・生涯教育の拠点としての公民館の機能向上が図られた。 ・河内公民館 内装床張替 ・西小沢公民館 屋根補修	B	B

施策の成果 を示す 主な指標	指標名(単位)	R2	R3	R4	担当課 評価	委員会 評価
	公民館事業参加者数(人)	12,808	10,659	13,251	B	B
	地域資源活用講座事業(人)	2,347	2,429	2,898	B	B
	公民館整備事業件数(件)	2	2	2	B	B

施策の 総合評価	A 期待した成果があった	B 一定の成果があった	C 見直しや改善が必要
事務局評価		○	
委員会評価		○	

課題と 今後の方向	【公民館地域活性化推進】 ①世代間交流事業などに取り組むことが困難な地域もあるが、広域的な事業の取り組みや地域間交流など、新たな事業展開への取り組みも見受けられる。 ②地域の特性を活かし、ニーズに合った公民館活動が重要である。今後、新たなコミュニティへの移行が推進されていくことから、地域・関係各課との調整を図りながら進めていく。
	【地域資源活用講座事業】 ・地域の資源等を活用した講座については、マンネリ化し飽きられないようアンケートを実施し、要望等を取り入れながら、内容の見直し等を行い、積極的に講座を実施していく。
	【公民館整備】 ①優先順位を検討しながら計画的な施設整備を行う。 ②常に施設管理を的確に行い、施設利用者の利便性を図っていく。

教育行政 評価委員 による意見	・公民館地域活性化推進事業については、多くの人が参加している。マンネリ化しないように、成果を上げていただきたい。 また、昨年度よりコミュニティスクールが立ち上がっているとのことなので、この施策に含めても良いのではないかと考える。
-----------------------	---

教育委員会施策の点検・評価書(令和4年度事業)

担当課 スポーツ振興課

総合計画 における 位置づけ	基本目標	Ⅱ 夢を育み健やかに生きるひとづくり				
	政策	3 夢と生きがいをもって活躍するひとづくり				
	基本施策	11 スポーツ・レクリエーション活動への支援				
		(1)スポーツ・レクリエーションの推進				
		(2)スポーツ団体への支援				
		(3)施設の充実と有効活用				
施策の概要	(4)高齢者・障がい者の健康体力づくりの推進					
	・子どもスポーツ活動の推進。 ・新総合体育館の整備。 ・各地区の特性やスポーツ施設の特徴に応じた計画的な整備。 ・高齢者や一人一人に合わせた気楽に楽しめる生涯スポーツやレクリエーション活動の推進。					

施策に対する 事務事業 の 概要・成果・ 評価	事務事業名	事務事業の概要	主な成果			担当課 評価	委員会 評価
	ジュニア競技能力向上事業	・運動に関する専門的知識を有する指導者によって、子どもたちが運動の楽しさを体験し、体を使った遊びに意欲的に取り組むとともに、教諭が日常の園生活での指導について研修する機会として実施する。	○公立幼稚園(4園)保育園(2園)、認定こども園(4園)において各園3回実施(計26回) ○回数を重ねることに子供たちは、積極的に取り組むようになった。 ○通常の園活動でマット運動や鉄棒などの指導に役立っている。			A	A
	スポーツ施設整備 (新総合体育館整備事業)	・現市民体育館の老朽化等に伴い、新たな総合体育館を山吹運動公園内に整備する。	○新総合体育館基本設計業務委託(R3繰越)にて、基本的な設計図書(配置、平面等)の作成及びパブリックコメントを実施し、実施設計業務委託(R4繰越)にて、市民・団体等の意見を聴取し、実施設計に反映している。 ○体育館解体工事(R4繰越)の発注を行い業者を選定した。			B	B
	スポーツ施設整備 (運動公園整備事業)	・スポーツ施設の計画的な改修を行い、安全安心に使えるよう維持管理に努める。	○山吹運動公園野球場防球ネット基本設計において、実施設計に向けた設計を行った。 ○大里ふれあい広場野球場三塁側ウォーミングアップエリア整備工事を行った。 ○町田運動公園整備計画測量設計を行い、R6年度完成に向け整備を進めている。			B	B

施策の成果 を示す 主な指標	指標名(単位)	R2	R3	R4	担当課 評価	委員会 評価
	ジュニア競技能力向上事業参加者数(延べ人数)	1,431	954	1,076	A	A
	スポーツ施設利用者数(人)	84,272	100,861	121,459	A	A

施策の 総合評価	A 期待した成果があった	B 一定の成果があった	C 見直しや改善が必要
事務局評価	○		
委員会評価	○		

課題と 今後の方向	【ジュニア競技能力向上事業・スポーツ施設整備】 市民のライフステージに応じ、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも気軽に楽しくスポーツ・レクリエーションに親しめるよう環境整備を進める必要があり、2019年3月に策定した「常陸太田市スポーツ推進計画」に掲げた以下の3つ項目を柱として各種施策に取り組んで行く。 ①子どもたちが将来にわたってスポーツを楽しむための能力と心身の育成を図るための「子どものスポーツ活動の推進」 ②高齢者や障がい者などが年齢や体力等に応じた生涯スポーツ活動と健康増進に取り組むための「スポーツを通じた健康増進」 ③利用者が常に安心安全で、快適に活動できるための「スポーツ施設の整備を適切に管理」		
--------------	--	--	--

教育行政 評価委員 による意見	・幼少期より専門的知識を有する方から指導を受けられるのは大変有意義であり、幼稚園等で指導を受けての研修の機会は継続していただきたい。 ・スポーツ施設は、計画的な維持・管理・修繕を計画的に実施していただき、安心・安全に利用できるようにお願いしたい。 ・高齢者や障害者の健康維持のために、ラジオ体操の防災行政無線での放送は、苦情が出ない時間帯を担当課と調整して実施してほしい。		
-----------------------	--	--	--

教育委員会施策の点検・評価書(令和4年度事業)

担当課	教育総務課
-----	-------

総合計画 における 位置づけ	基本目標	Ⅲ 暮らしやすく楽しむことのできるまちづくり
	政策	1 安心・安全なまちづくり
	基本施策	14 犯罪のないまちづくり
		(3) 子どもの安全対策
	施策の概要	・登下校時の安全対策の強化。

施策に対する 事務事業 の 概要・成果・ 評価	事務事業名	事務事業の概要	主な成果	担当課 評価	委員会 評価
	子供の安全対策強化	登下校時の児童生徒の安全を確保するため、地域子ども安全ボランティアの登録推進及び通学路危険箇所の安全点検を実施	地域子ども安全ボランティアによる登下校の見守り運動及び警察・道路管理者等の関係機関による通学路の危険箇所改善により、子どもの安全確保が図られた。	B	B

施策の成果 を示す 主な指標	指標名(単位)	R2	R3	R4	担当課 評価	委員会 評価
	地域子ども安全ボランティア会員数(人)	600	529	529	B	B
	「子どもを守る110番の家」設置数	379	372	372	A	A
	危険箇所改善数(件)	63/70	41/55	17/25	B	B

施策の 総合評価	A 期待した成果があった	B 一定の成果があった	C 見直しや改善が必要
事務局評価		○	
委員会評価		○	

課題と 今後の方向	【子供の安全対策強化】 「地域子ども安全ボランティア」及び「子どもを守る110番の家」の地域住民等による安全対策は、高齢化のため登録数が減少傾向にある。また、警察及び道路管理者等の関係機関と連携を図り、通学路における危険箇所対策要望箇所の対策を速やかに行い、児童生徒の安全確保が重要である。
--------------	--

教育行政 評価委員 による意見	・ボランティアの人員確保は大変だろうと思うが、子供たちの安全確保のためにも継続していただきたい。 ・道路管理対策の除草について、看板・標識等が視認できるよう、早期の対応をお願いしたい。 ・不審者メールがあれば通学路等の警察による巡回パトロールがなされており、連携が図られていると実感できる。 ・在校時の児童生徒の安全対策として、日常的に先生が防犯ブザーやホイッスル等を携帯する事に対して検討いただきたい。
-----------------------	---

教育委員会施策の点検・評価書(令和4年度事業)

担当課	教育総務課
-----	-------

総合計画 における 位置づけ	基本目標	Ⅲ 暮らしやすく楽しむことのできるまちづくり
	政策	3 地域の特性を生かしたコミュニティづくり
	基本施策	24 結婚・定住の促進
		(2) 移住・定住の促進
	施策の概要	・UIターン者への支援。

施策に対する 事務事業 の概要・ 成果・評価	事務事業名	事務事業の概要	主な成果	担当課 評価	委員会 評価
	移住・定住者への奨学資金 返還助成制度	助成対象者に当該年度に返 還した奨学資金の全額、ある いは1/2以内の額を助成す る。	奨学生のうち市内定住者やUターン者にと っては、負担の軽減につながり、市内定 住及び就労に結び付いている。	B	B

施策の成果 を示す 主な指標	指標名(単位)	R2	R3	R4	担当課 評価	委員会 評価
	奨学資金返還助成制度を利用した転入者数	7	7	8	B	B

施策の 総合評価	A 期待した成果があった	B 一定の成果があった	C 見直しや改善が必要
事務局評価		○	
委員会評価		○	

課題と 今後の方向	【移住・定住者への奨学資金返還助成制度】 令和5年度からは、奨学資金返還免除制度へ移行するため、廃止。
--------------	--

教育行政 評価委員 による意見	・これまでの半額免除だけでも助かる制度であるのに対し、今後全額免除制度になるとのことで、大変助かる制度であり、多くの方が利用されているようなので、成果が期待できる施策である。
-----------------------	---

教育委員会施策の点検・評価書(令和4年度事業)

担当課 文化課

総合計画 における 位置づけ	基本目標	Ⅲ 暮らしやすく楽しむことのできるまちづくり
	政策	3 地域の特性を生かしたコミュニティづくり
	基本施策	25 市民の地域活動への支援
		(1) 地域コミュニティへの支援
		(3) 多世代交流機会の創出
施策の概要	・エコミュージアム活動を通じた地域の良さの再確認や愛着心の育成 ・エコミュージアム活動等による多世代交流の促進	

施策に対する 事務事業 の 概要・成果・ 評価	事務事業名	事務事業の概要	主な成果	担当課 評価	委員会 評価
	エコミュージアム活動推 進	・「わがまち地元学」として、地域の自然、歴史、文化等を地域のお宝として探索し、お宝マップを作成する等の取り組みへ支援する。	・取り組み地区は(前年度から継続2(上利員、岡田)新規2(折橋、瑞龍一・二合同)の4地区で、コロナ禍により一部内容を変更しながら継続2地区は事業完了し「地域資源整備事業」へ移行、新規2地区は次年度へ継続(令和5年度完了予定)となった。コロナ禍により一部内容を変更して実施したため、従来と比べやや参加者の交流が不十分であった。	B	B
		・「地域資源整備事業」として、お宝の解説看板、地域散策マップ、ハイキングコース整備、来訪者のためのベンチ作り等の取り組みへ支援する。	・取り組み地区は(前年度から継続1(芦間)、新規2(上利員、岡田)の3地区で、予定どおり事業完了となった。	B	B
	エコミュージアム活動推 進 (地域交流事業)	・上記の活動で発見されたお宝を活用し、自然体験学習や途絶えてしまった地域独自の行事復活等の取り組みへ支援する。	・取り組み事業は10事業(7地区)の予定であったが、コロナ禍により一部内容を変更しての4事業の実施にとどまってしまった。地区内外の参加者やボランティア等との交流、地域活動の活性化に十分につなげることはできなかった。	—	—

施策の成果 を示す 主な指標	指標名(単位)	R2	R3	R4	担当課 評価	委員会 評価
	エコミュージアム活動実施地区(町会等)数:累計	33	33	36	B	B
	* 活動は年度を越えて継続するので指標は累計とする。					
	* 瑞龍町は一、二合同のため取り組み数は1だが、地区数は2とする。					

施策の 総合評価	A 期待した成果があった	B 一定の成果があった	C 見直しや改善が必要
事務局評価		○	
委員会評価		○	

課題と 今後の方向	【エコミュージアム活動推進】 エコミュージアム活動のうち、一部の交流事業を除いて運営には市が大きく関わっている現状がある。今後は地域住民が主体となった活動を目指し、その手法や市の関わり方について調査・研究をしていく。
--------------	---

教育行政 評価委員 による意見	・それぞれの事業がどんどん地域へ移行し、各町会で様々な素晴らしい活動を行っており、一定の成果は得られている。これからも継続し、地域全体で盛り上げていただきたい。 また、運営には今後も市に関わっていただかないと難しいのではないかと考える。
-----------------------	---

参考 教育委員会の活動状況

1 教育委員会教育長・委員について

本市教育委員会は、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関し識見を有する者のうちから、市長が市議会の同意を得て任命した教育長と4名の委員により構成されている。

常陸太田市教育委員会委員〔令和5年3月31日現在〕

職 名	氏 名	任 期
教育長	石川 八千代	令和2年4月1日から令和5年3月31日まで
委員 (教育長職務代理者)	岩間 敦子	令和3年4月1日から令和7年3月31日まで (令和3年10月5日から令和7年3月31日)
委員	小澤 和彦	令和3年10月5日から令和7年10月4日まで
委員	谷下田 幹子	平成31年4月1日から令和5年3月31日まで
委員	萩谷 浩司	令和2年4月1日から令和6年3月31日まで

2 教育委員会の活動状況について

定例会、臨時会など、令和3年度における本市教育委員会の主な活動状況は、次のとおりである。

年月日	出席委員数	件 名
令和4年4月1日	5名	協議会 ・教育委員会事務局職員紹介 ・令和4年度市立小学校入学式の出席について
令和4年4月21日	5名	定例会 ・常陸太田市招致外国青年任用規則の一部改正の専決について ・常陸太田市立学校管理規則の一部改正について ・常陸太田市奨学生選考審査会委員の委嘱について ・常陸太田市学校事務共同実施グループに係る中心校と連携校の指定について ・常陸太田市学校事務共同実施グループ事務長の任命について ・常陸太田市公民館主事の任命について ・常陸太田市公民館運営審議会委員の委嘱について ・令和4年度教育委員会主要事業の概要について ・職員の発令について（報告）
令和3年5月26日	4名	定例会 ・常陸太田市社会教育委員の委嘱について ・常陸太田市公民館運営審議会委員の委嘱について ・常陸太田市図書館協議会委員の任命について ・常陸太田市スポーツ推進委員の委嘱について

令和4年6月22日	4名	定例会 ・令和4年度常陸太田市一般会計補正予算（第5号）（教育費関係）の編成に対する意見の専決について ・公民館運営審議会委員の委嘱に関する専決について ・常陸太田市学校等給食費徴収規則の一部改正について ・常陸太田市図書館電子書籍の貸出等に関する要項の制定について ・常陸太田市立学校運営協議会委員の委嘱及び任命について ・常陸太田市障害児就学指導委員会委員の委嘱及び任命について
令和4年7月22日	4名	定例会 ・令和5年度使用小・中学校教科用図書採択について
令和4年8月16日	4名	定例会 ・常陸太田市奨学資金貸与条例の一部を改正する条例の意見について
令和4年9月30日	5名	定例会 ・令和4年度常陸太田市一般会計補正予算（第6号）（教育費関係）の編成に対する意見の専決について ・常陸太田市奨学資金貸与条例施行規則の一部改正について ・常陸太田市教育委員会公印規則の一部改正について ・常陸太田市ふるさと定住奨学資金返還助成金交付要綱の廃止について ・常陸太田市立図書館協議会委員の任命について
令和4年10月28日	5名	定例会 ・常陸太田市立幼稚園設置条例の一部改正について ・常陸太田市里美地区学校建設基金の設置、管理及び処分に関する条例を廃止する条例の意見について ・常陸太田市就学援助実施要項の一部改正について ・常陸太田市コミュニティ・スクール推進委員の委嘱及び任命について ・常陸太田市公民館運営審議会委員の委嘱について ・令和4年度（令和3年度事業）教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価に関する報告書 ・新総合体育館整備基本設計の進捗状況について
令和4年10月5日	5名	学校訪問 すいふこども園、水府小中学校 さとみこども園、里美小中学校
令和4年10月20日	5名	学校訪問 うぐいすこども園、久米幼稚園、 金砂郷小学校、金砂郷中学校
令和4年10月28	5名	学校訪問

		幸久幼稚園、幸久小学校、峰山中学校
令和4年11月1日	5名	学校訪問 のぞみこども園、機初小学校、誉田小学校 瑞竜中学校
令和4年11月8日	5名	学校訪問 世矢幼稚園、世矢小学校、世矢中学校
令和4年11月11日	5名	学校訪問 太田進徳幼稚園、太田中学校、太田小学校
令和4年11月17日	4名	定例会 ・常陸太田市公の施設に係る指定管理者の指定について ・コミュニティ・スクールの現状について ・地域部活動について
令和3年12月24日	3名	定例会 ・令和4年度常陸太田市一般会計補正予算（第9号） （教育費関係）の編成に対する意見の専決について
令和5年1月26日	5名	定例会 ・新総合体育館整備に向けた今後の予定について ・市教育委員会の中学校卒業式出席者について ・入学祝い品について
令和5年2月16日	5名	定例会 ・常陸太田市郷土資料館の設置及び管理に関する条例の 一部改正について ・第二次常陸太田市子ども読書活動推進計画の策定につ いて
令和5年3月13日	5名	市内中学校卒業式
令和5年3月16日	5名	臨時会 ・令和5年度常陸太田市一般会計当初予算（教育費関係） の編成に対する意見の専決について ・令和4年度常陸太田市一般会計補正予算（第12号） （教育費関係）の編成に対する意見の専決について ・県費負担教職員の任免等の内申について
令和5年3月31日	5名	定例会 ・常陸太田市教育委員会が所管する指定管理施設の指定 管理者電気料金支援金支給要項の制定の専決について ・常陸太田市教育委員会が保有する個人情報の保護に関 する規則の一部改正について ・常陸太田市学校等給食費徴収規則の改正について ・常陸太田市立学校等における防犯カメラの設置、管理 及び運用に関する要項の一部改正について ・常陸太田市立図書館インターネット情報利用サービス 実施要項の制定について ・学校医の委嘱について ・常陸太田市公民館長の任命について

		・常陸太田市公民館主事の任命について ・常陸太田市公民館運営審議委員の委嘱について ・文化財の指定について ・常陸太田市スポーツ推進委員の委嘱について
令和３年度 教育委員会の会議開催状況		
1	開催回数	14回（定例会12回、臨時会1回、協議会1回）
2	議案件数	39件
3	報告件数	8件
4	選挙件数	0件

令和５年度（令和４年度事業）
教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価に関する報告書

令和５年７月
常陸太田市教育委員会